

(社) 札幌公共嘱託登記土地家屋調査士協会 社会貢献事業

『社会貢献事業完了』（夕張市鹿の谷3丁目5番1分筆登記・測量業務）

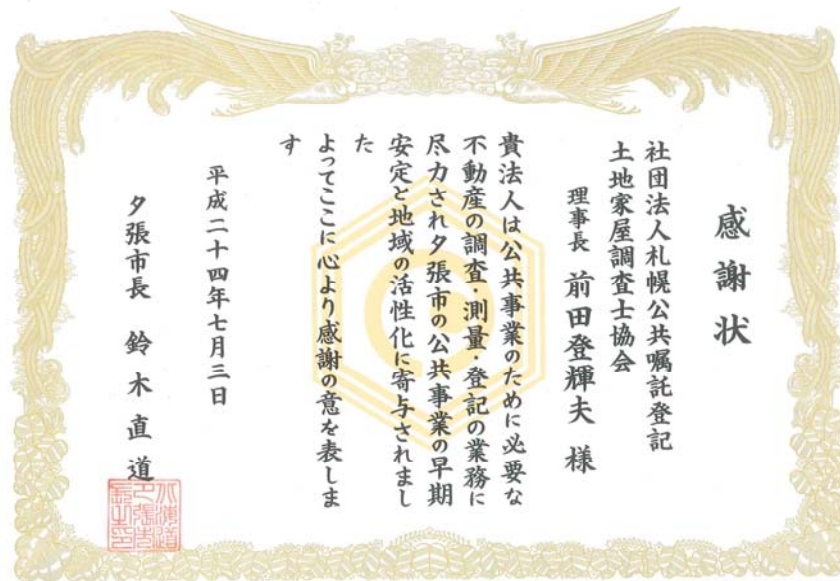
夕張市より支援協力要請のあった、嘱託登記業務を札幌公共嘱託登記土地家屋調査士協会（理事長 前田登輝夫）第1号の社会貢献自主事業として受諾しましたが、このほど業務が完了して成果品が夕張市に納められました。



鈴木市長（左）より前田理事長に感謝状が贈られる

平成24年7月3日市長室において、鈴木直道夕張市長より感謝状が贈られ、札幌土地家屋調査士会の桑田毅会長の同席も頂き、前田理事長が夕張市からの感謝の意を受取りました。

北海道新聞、読売新聞各社の取材があり、4日と5日の空知版に掲載されました。





左から、室田公嘱協会専務理事、鈴木公嘱協会空知支所長
前田公嘱協会理事長、鈴木夕張市長、桑田札幌土地家屋調査士会会長
阿部公嘱協会副理事長、北方札幌土地家屋調査士会副会長

北海道新聞 7月5日 朝刊掲載

市有地測量支援
無償支援で表彰
地元団体へ市

【夕張】公共事業に伴う不動産登記に必要な調査、測量を専門に行う社団法人札幌公嘱託登記士地家屋調査士協会（前田登輝夫会長）が市内鹿の谷の市有地の調査を無償で行い、市から2日、感謝状が贈られた。

市が鹿の谷3の市有地5650平方メートルを九つに分筆して売却するため、同協会に支援を要請。この日、調査と測量業務を終えた

め、前田会長らが市役所を訪れ、報告書を鈴木市長に手渡した。鈴木市長は前田会長に感謝状を贈り、「売却にこぎ着ければ歳入が増につながり、助かります」と述べた。前田会長は「今後も支援できるところがあると思うので、お手伝いしたい」と語った。

土地の調査結果を鈴木市長（左）に説明する前田会長（右）



分筆した市有地について鈴木市長に説明する前田理事長（右端）ら

市有地 無償で測量、分筆

夕張市 土地家屋調査士協に感謝状

夕張市は3日、無償で市有地の測量と分筆を行った札幌公共嘱託登記土地家屋調査士協会（前田登輝夫理事長、加盟約170人）に、感謝状を贈った。

同協会では、今年度から社会貢献として、土地や建物の調査や測量に困っている自治体を支援する取り組みを始めており、夕張が最初の実施先になった。5月に市から依頼を受

け、市内鹿の谷3の市有地（約5650平方メートル）を測量して、9筆に分筆した。

この日は、市役所に前田理事長らが訪れ、成果品の図面などを鈴木市長に渡し、概要を説明した。鈴木市長は「これを生かして土地の有効活用に当たりたい」と謝意を述べた。市では今後、民間売却を進める方針。

